

# 市教委だより

## 児童生徒の心に響く道徳教育推進事業【文部科学省指定：八束小】

八束小学校は、平成14・15年度文部科学省『児童生徒の心に響く道徳教育推進事業』の研究推進校として、道徳の時間の充実、福祉教育や地域学習の推進などを柱に、子ども心に響く道徳教育の研究実践に取り組んできました。

1月28日には、2力年にわたる研究の成果を、幡多地区の70人近い学校関係者と多数の保護者や地域の方々に参加をいただき、道徳の授業公開・実践発表という形で成果を発表しました。



特に、当日公開された道徳授業では、「四万十川からのおくりもの」や「太刀おどり」といった地域を素材とした自作教材、感動的な母親の手紙の活用、地域の方のゲストティーチャー招聘、情報機器を活用しての工夫された資料提示、役割演技を取り入れた子ども主体の展開などその後の実践発表とあわせて、先生・子ども・地域・保護者が協同してすすめてきた、心を育てる学校の地道な実践がうかがえる内容でした。

八束小学校のさまざまな取り組みから、心豊かな子どもの育成のために、それぞれの地域で、学校・家庭・地域が共に手をとりあい、声をかけ合う活動が広がることを期待します。



## ALTといっしょに！ 国際理解教育推進校【東中筋小】



中村市教育委員会のALT（外国語指導助手）として、ニール（写真上）とニーナ（写真下）の2人が市内小中学校の授業に出むいて、簡単な英語などを教えるなどして、子どもたちと交流しています。

この日は、今年度国際理解教育推進校の東中筋小学校で参観日の公開授業として、国際理解・英会話の授業が行われました。英語の絵本を読んだり、英語カードを使っているいろいろなもの名前を答えたり、ゲームをしたりと子どもたちも楽しそうでした。

日本のカルタのようなゲームでは、ALTの言葉（もちろん英語です！）にすばやく反応してカードをおさえたりと、かなり英語に慣れている様子でした。また、保護者の方々も、笑顔で子どもたちの活動を参観していました。



### ～ 国際理解教育 ～

小学校では、外国語に触れたり、外国の生活や文化に慣れ親しむことなど、興味・関心をもつことのできるような活動が行われています。

質問・ご意見をお寄せください。 問い合わせ先（市）教育委員会学校教育課 (34) 5445

## 河川の水質保全にご協力ください

日本最後の清流といわれる、このかけがえのない四万十川を守り、美しい流れのまま後世に伝えていくため、中村市では、中村市四万十川の保全及び振興に関する基本計画を制定しています。

この計画の目標は、四万十川及びその支流、そして公共の水路なども含めて、きれいな水と豊かな自然を保全し、環境と調和した地域社会を築くことです。目標の実現は決して容易ではありませんが、実現のためには市民・事業者そして行政がお互いに力を合わせていくことが必要不可欠です。

一昨年、水稲作業の代かき時期に、余分な代かき水（土を含んだ濁水）が落水され、河川が真っ茶色に変色する事例が報告されています。

つきましては、代かきから田植えまで水田に入れる用水量を、作業に支障がない程度に抑えることで落水を極力減らし、河川の水質保全に努めていきましょう。

問い合わせ先 (市) 農林水産課農業振興係 (34) 1117